

憩いと安らぎをお届けする 綾部市立病院



おあしす

2012.5
vol.26

発行人: 鴻巣 寛 編集: 綾部市立病院広報委員会 発行日: 2012年5月 ●日本医療機能評価機構認定病院 ●基幹型臨床研修指定病院



「奥飛騨温泉より槍ヶ岳方面を望む」／撮影: 副院長 志賀浩治

パートナーシップを大切に



院長 鴻巣 寛

新緑が美しい爽やかな季節となりました。この春、新進気鋭のスタッフ21名を迎え、新年度がスタートしました。多くの若者が新社会人として第一歩を踏み始めます。どうぞよろしく願います。

さて、甚大な被害をもたらした東日本大震災から1年以上が経過しましたが、被災地では、今なお多くの人々が様々な苦難を乗り越えながら復興・再生を目指し奮闘されています。そのひたむきな努力に深い感銘を覚えるとともに、改めて地域の絆の大切さを学びました。医療を取り巻く環境も、地域の人材不足や財政難に加え、今回の震災の影響によって大変厳しい状況が続いています。しかし、このような時こそ、私たちは病院の果たすべき役割を十分認識し、チーム力を活かして地域の医療をしっかり守っていく必要があると考えています。そのために最も大切にしたことは、患者と医療者との強いパートナーシップを築くことです。患者さんとそのご家族、そして地域と医療関係者が一緒になって、より良い医療を求めて歩んでいくことが地域医療を支える大きな力になると信じています。市立病院では、地域の皆さんとの交流を深めるために、患者・家族によるサークル活動やボランティア活動を推進するとともに、健康増進に役立つ生活習慣病予防教室、糖尿病教室、母親教室、禁煙外来など、様々な取組を行っています。最近、セカンドオピニオン外来の新設と同時に、がん相談支援センターを設置し、がん診療に関する様々な悩みや不安など、より身近に相談できるようになりました。また人間ドックアンケート調査、外来と入院の満足度調査、外来待ち時間調査など、病院独自のアンケート調査を積極的に実施し、医療サービスの向上に役立てています。これからも、地域の皆さんとのパートナーシップを大切にし、より愛される病院を目指して努力したいと思っております。ご協力よろしく願います。

今回の内容

●新任職員紹介 ●アンケート結果 ●HbA1cの表示について ●リレーエッセイ「心の音」

管理栄養士 大槻 彩 (おおつき あや)



この4月から栄養科にて勤務させていただくこととなりました。病院の管理栄養士として勤務するのは今回がはじめてとなりますので、まだまだ経験が浅く、なにかとご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、栄養や食事の面から地域の皆様の健康を支えられるように精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

内科医師 江口 晴子 (えぐち はるこ)



4月より当院の消化器内科医として勤務する江口です。一昨年までの3年間も綾部で働いたので、顔を見たことがある方も中にはいらっしゃるかもしれません。私にとっても初めての職場ではありませんが、また新たな気持ちで仕事ができたらと考えております。昨年度は京都市内で生活をしていたのですが、久しぶりに綾部の空気を吸い、美しい景色の中で過ごせることに喜びを感じております。現在のところ消化器内科の中で女性は私一人なので、男性医師には相談しにくいことなど遠慮なく聞いて頂ければと考えております。よろしくお願いいたします。

医療技術部

臨床検査技師 高田 雄太 (たかた ゆうた)



この4月から綾部市立病院で働かせていただいております。この職種について5年目を迎えましたが、患者さんと直接接する業務に関してまだまだ経験不足です。何かとご迷惑をおかけする事とは思いますが、一日でも早く職場環境に慣れ、地域の皆様に貢献できるよう精一杯努力して参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

産婦人科医師 川原 健治 (かわはら けんじ)



綾部で初期研修を修了し、引き続き産婦人科医として勤務することとなりました。今までの2年間この地域で様々な事を学ばせていただきました。まだまだ未熟ですが、来院される方々のお役に立ち、地域医療に少しでも貢献できるよう精一杯頑張りしたいと思います。よろしくお願いいたします。

臨床工学技士 岩崎 公亜 (いわさき きみえ)



この4月から臨床工学技士として勤務させていただくことになりました。これまで京都保健衛生専門学校に通ってました。地域医療に興味があり、自分の地元で働くことができ感激しています。経験も浅く、至らない点も多いですが、安心して医療を提供できるように日々努力しますので、皆さまどうぞ宜しくお願いします。

臨床研修医師 青山 幸平 (あおやま こうへい)



この春、自治医科大学を卒業し、4月から2年間研修医として勤務させていただいております。綾部という初めての地で不安も多かったですが、スタッフの皆さんを始め、地元の方もとても温かく受け入れていただけたため、生活も大分落ち着いてきました。医師としてだけでなく、社会人として出発したばかりで、まだ右も左もわからない未熟者です。そのため、何かとご迷惑をおかけしてしまうこともあります。精一杯努力し1つ1つ成長していきたいと思っておりますので何卒よろしくお願いいたします。

作業療法士 四方 肇 (しかた はじめ)



4月より作業療法士としてリハビリテーション科に勤務させていただくことになりました。高校を卒業後より綾部を離れ、昨年まで精神科病院で働いていました。10年ぶりに綾部に帰ってくることに、生まれ育った町で市民の皆さんのお役に立てればと思います。色々な方にご迷惑をおかけすると思いますが、日々努力を忘れず頑張りますので、よろしくお願いいたします。

臨床研修医師 塚崎 菜奈美 (つかさき ななみ)



この春に島根大学医学部を卒業し、4月より1年間綾部市立病院で研修医として勤務させていただくことになりました。綾部という土地に来たのも初めてで、最初は期待と同時に不安もたくさんありましたが、今は少しずつ綾部での生活に慣れてまいりました。社会人としても、医師としてもスタートラインに立ったばかりでまだまだ未熟な私ですが、日々努力し、少しでも早く綾部の皆様のお役に立てるよう頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。

言語聴覚士 福井 教子 (ふくい のりこ)



4月から言語聴覚士として、リハビリテーション科に勤務することになりました。当院で初めて言語聴覚士を採用していただき、とても感謝しています。ST (Speech-Language-Hearing Therapist) と呼ばれることもあり、構音障害、言語障害、聴覚障害、嚥下障害、発達障害などが訓練対象です。まだ経験も浅く、未熟ですが、患者さまの笑顔を励みにがんばります。よろしくお願いいたします。

臨床研修医師 杉本 健 (すぎもと たけし)



今年、京都府立医科大学を卒業し、4月より1年間綾部市立病院で研修医として勤務させていただくこととなりました。学生時代の2週間の院外実習での思い入れが強く、この地を最初の研修場所に選ばせていただきました。社会人としても、医師としても未熟な存在ではありますが、少しでも貢献できるように一生懸命努力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



看護師 井上 麦 (いのうえ むぎ)



京都府立看護学校をこの春卒業し、4月より綾部市立病院で看護師として勤務させて頂くことになりました。出身が綾部であることもあり、慣れ親しんだ土地で、看護師として働ける喜びと、期待に胸を膨らませています。少しでも早く現場に馴染めるよう精一杯努力してまいります。笑顔をやさず、患者様の心を照らせるような、温かい看護師になりたいです。未熟な点がまだまだ多いですが、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

看護師 塩見 篤司 (しおみ あつし)



この春に京都府立看護学校を卒業し、綾部市立病院で看護師として勤務させて頂きます。地元は福知山ですが、こちらの病院の体験実習で、患者様に対して誠実に看護されている看護師さんの姿を見て自分もこの病院で働きたいと思ったのがきっかけです。まだまだ未熟者ですが、看護師として患者様から信頼して頂けるように日々励んでいきたいと思っていますので宜しくお願いします。

看護師 出野 由依 (いでの ゆい)



この春に大学を卒業し、4月より綾部市立病院で看護師として勤務させて頂くこととなりました。私は、幼少の頃より、介護を要する家族があり、多くの医療関係の方々、患者、家族も支えられてきました。その経験から、患者様の回復の為に全力を尽くし、患者様もその家族の方も支えられるような存在で、地域の皆様に貢献できる看護師になりたいと思っています。精一杯努力していきたいと思しますので、よろしくお願い致します。

看護師 和田 楓 (わだ かえで)



この春、京都府立看護学校を卒業し、4月から綾部市立病院で看護師として勤務させて頂いています。地元から離れ、社会人として働く以上で不安や緊張もありますが、同期の方や先輩方に支えられ、綾部での新しい生活にも少しずつ慣れてきたように感じます。まだまだ未熟者な私ですが、綾部の土地柄や人柄の良さに癒されながら、地域医療に貢献できるよう精一杯頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願い致します。

看護師 田口 和 (たぐち のどか)



この春に京都府立看護学校を卒業し、4月より看護師として勤務させて頂くことになりました。出身は福知山で、学生時代に参加させて頂いたインターンシップの際に、綾部市立病院の温かさに触れ、ここで働きたいと思うようになりました。初めてのことでばかりで学ぶことの多い毎日です。しかし笑顔を忘れず多くの方の事を吸収し成長していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

看護部

助産師 西谷 雪絵 (にしに ゆきえ)



このたび4月より綾部市立病院で助産師として勤務させて頂くことになりました。生まれ育った大阪を離れ新しい生活に不安もありますが、温かい雰囲気のある綾部が大好きです。温かく迎えて下さるたくさんの方の先輩に囲まれ、いろんなことを吸収し大きく成長していきたいと考えています。いつも笑顔で、お母さん、赤ちゃん、ご家族に優しい助産師になれるよう精一杯頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

助産師 内山 はる菜 (うちやま はるな)



今年の春に、京都府立医科大学の看護学科を卒業し、4月より綾部市立病院で助産師として勤務させて頂くことになりました。新しい土地、新しい環境での生活にまだまだ戸惑うこともたくさんありますが、医療者として学び、働くことができることをとても楽しみにしています。一人一人の患者様との出会いを大切に、一日でも早く一人前になれるように頑張りたいと思ひますので、よろしくお願い致します。

助産師 末木 里実 (すえき さとみ)



この春、京都橘大学を卒業し、4月から助産師として勤務させて頂いています。綾部での生活にも、おらかなこの土地の雰囲気や、まわりのスタッフの方々に見守られながら、少しずつ慣れてまいりました。まだまだ社会人としても助産師としても未熟で、日々学ぶことが多くありますが、皆様のお役に立てるよう精一杯頑張っていきたいと思ひております。どうぞよろしくお願い致します。

看護師 乾 志津子 (いぬい しづこ)



こんにちは！私は看護師の経験は23年目になります。いろいろ経験はしましたが、やっぱり内視鏡が好きで、綾部でお世話になることになりました。出身は石川県で、今は福知山に住んでいます。年はとっていますが、気持ちは20代です。スマホでショッピングもします。綾部のことはほとんど知らないの、いろいろ教えていただきたいと思ひます。よろしくお願い致します。

看護師 金 延知子 (かねのぶ ともこ)



この度4月より看護師として、勤務させて頂くことになりました。介護老人保健施設から、久しぶりの病院勤務となります。わからことも多く、皆様にご迷惑をおかけするかとありますが、初心にかえり、頑張っていこうと思ひております。どうぞ宜しくお願い致します。

管理課主幹 諏訪 博幸 (すわ ひろゆき)



4月1日付けの人事異動により、綾部市から綾部市医療公社に派遣され、事務部管理課でお世話になることになりました。過去にもこの市立病院でお世話になったことがあり、再び、皆様方のご指導をいただくこととなりました。どうかよろしくお願い致します。



事務部

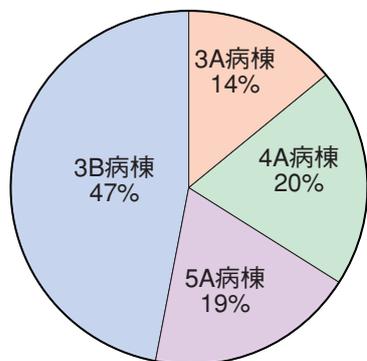
満足度アンケート調査結果

満足度調査の結果について報告します。

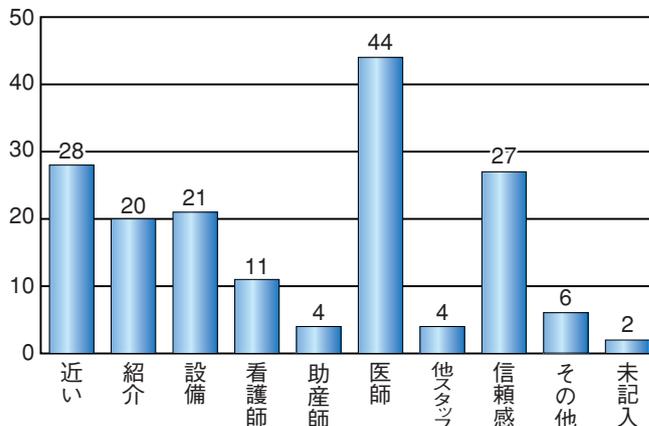
- 実施期間 H23.8.29 ~H23.9.12
- 集計件数 88件(男38% 女61% 未記入1%)
- 年 齢 20歳代~80歳代

入院

I 入院病棟の割合



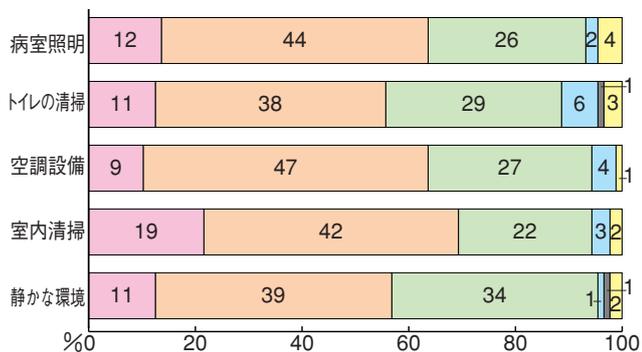
II 入院理由



「近い」「信頼感」「医師の評判」「設備」が主な入院理由となっています。

III 施設・設備

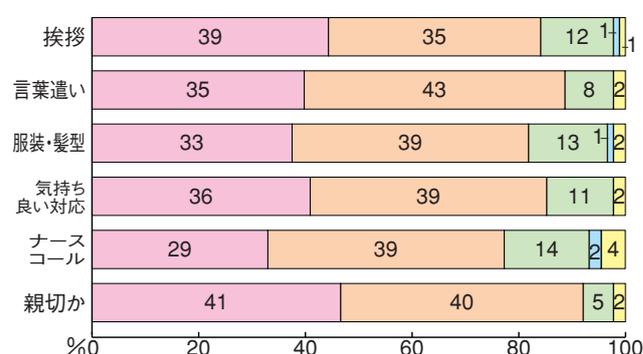
□非常に良い □良い □普通 □悪い □非常に悪い □無回答



更なる清掃の徹底を行い、快適な入院生活が送れるよう、環境を整える努力をして参ります。

IV 職員の接遇

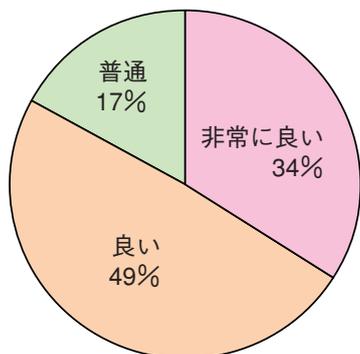
□非常に良い □良い □普通 □悪い □非常に悪い □無回答



おおむね良いという結果ですが、「この病院にきて良かった」と感じていただけるよう、今後も全職員努力して参ります。

V 総合満足

悪い
非常に悪い
無回答は0%



VI その他・ご意見

- 車イスの高さに合わせた鏡がほしい。
- 手術前は不安でいっぱいであったが、Dr・Nsが励まし元気付けてくれ安心して治療が受けられた。
- 手術・治療と何度もお世話になり、変わることなく最高の接遇を受け、感謝の一言につきる。
- 安心して治療が受けられ、各スタッフの方々に感謝します。
- 説明をしっかりと手術に臨めたので、不安が少なく術後もおだやかに過ごせた。
- 些細なことでも丁寧に相談にのっていただき安心した入院生活です。

貴重なご意見ありがとうございました。これからも、外来診察・入院生活が、安全・安心・快適に過ごしていただけるように、善処いたします。今後もお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。

(医療サービス改善委員会)

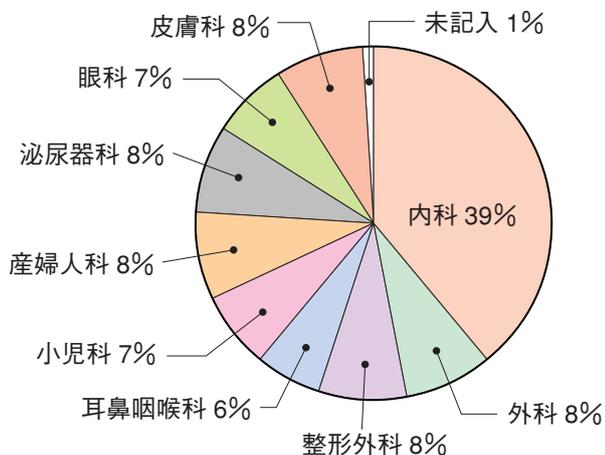
平成23年度 患者満足

昨年8月から9月に実施した病院の満足度調査の結果

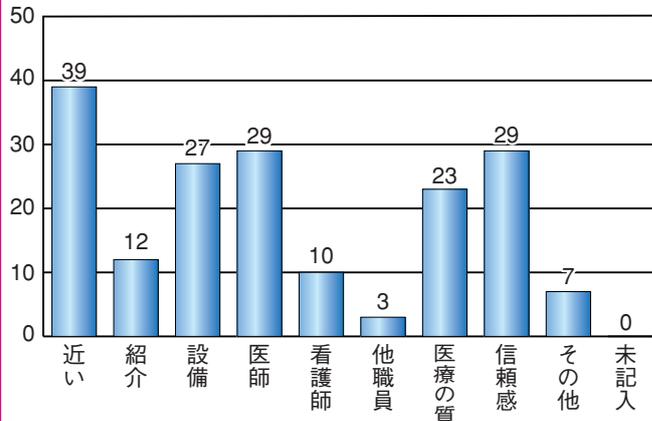
- 実施期間 H23.9.27～H23.9.28
- 集計件数 101件(男35% 女65%)
- 年齢 20歳代～80歳代

外 来

I 受診科項目の割合



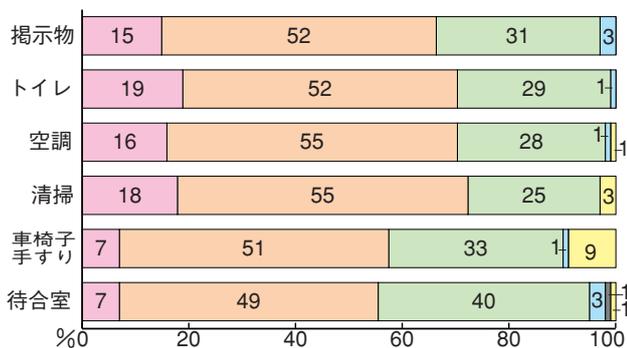
II 来院理由



「近い」「信頼感」「医師の評判」「設備」「医療の質」が主な外来理由となっています。

III 施設・設備

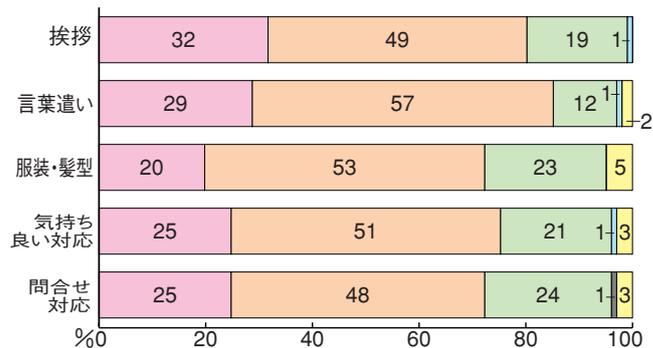
□非常に良い □良い □普通 □悪い □非常に悪い □無回答



「掲示物」「待合室」の整理整頓に配慮し、安心・快適に診察が受けていただけるよう努力して参ります。

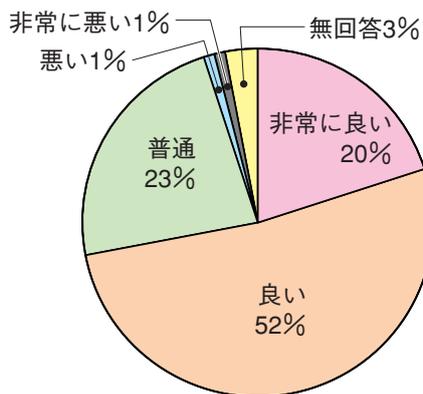
IV 職員の接遇

□非常に良い □良い □普通 □悪い □非常に悪い □無回答



おおむね良いという結果ですが、病院全体で接遇研修を行い、気持ちよい対応ができるよう、今後も努力して参ります。

V 総合満足



VI 受付番号による呼び出し



VII その他・ご意見

- すぐに入院できるのが便利。
- 他科と連携できているのも魅力です。
- 看護師の接遇がとてもよい感じ。
- 年寄りには親切に伝えて頂く事が嬉しい。
- 病気について相談しやすい場所があったらよい。(結果説明・その後の対応など)
- 患者が多いのは医師や職員の対応がいいから仕方ないと思うが、待ち時間が長い。それでも他の病院へは行きたくない。何とかならないですか？

HbA1cの表示について

糖尿病の検査のひとつにHbA1cという採血項目があります。HbA1cは「ヘモグロビン・エー・ワン・シー」と読みます。赤血球の中には、ヘモグロビンという全身の細胞に酸素を運んでいるたんぱく質があります。このヘモグロビンにブドウ糖がくっついたものがHbA1cです。ヘモグロビンのうちどれくらいの割合(%)でHbA1cがあるのか検査することで、「糖尿病になっていないか」、また「ここ1～2か月間の糖尿病の状態(血糖コントロール)がよいかどうか」がわかります。血糖値が高い状態が続くと、HbA1cの値も高くなります。

そのHbA1cが、4月1日から2種類の表示になっています。これは、HbA1cの国際標準化に伴うもので、「HbA1c(JDS値)」と「HbA1c(NGSP値)」の2種類で表示されています。これまで日本では、JDS値(日本糖尿病学会値)という測定基準を使用していました。しかし、このJDS値は国際的に広く使用されているNGSP値(国際標準値)と比べると、同じ血液を測定した場合、約0.4%低い値になることがわかりました。そこで日本でも、国際標準となっているNGSP値という測定基準を用いることになりました。最終的には、このNGSP値だけの表示になる予定ですが、しばらくはJDS値も併せて表示されます。

| これまで | |
|-------|---------|
| | 基準値(%) |
| HbA1c | 4.3~5.8 |

↓

| 2012年4月1日から | |
|-------------|---------|
| | 基準値(%) |
| HbA1c(JDS) | 4.3~5.8 |
| HbA1c(NGSP) | 4.6~6.2 |

NGSP値は、いままでのJDS値より約0.4%高い値になります。数字だけ見ると、いつもより値が高くなったと感じるかもしれませんが、診断基準や、血糖コントロールの目標値も変わっていますので注意が必要です。

(臨床検査科 滝本寿史)

目臨技精度保証施設に認証されました

私たちが、日々患者様に提供している臨床検査の値には「正確さ」が求められます。また日本中どこの施設で臨床検査を行っても同じ項目は同じ値になること、すなわち「標準化」への取り組みも大切です。

綾部市立病院臨床検査科でも、正確な臨床検査値を提供すること、また標準化を実現するために、検査試薬の選定から毎日の試薬管理そして測定機器の保守に至るまですべてにおいて力を注いでいます。

一方、日本臨床衛生検査技師会では、平成22年度よりこのような精度保証や標準化への取り組みを積極的に行い、かつ外部精度管理事業で一定の好成績を収めている施設を認証する制度として「目臨技精度保証施設認証制度」をスタートさせました。

このたび当臨床検査科においても平成23年度審査に合格し精度保証施設の認証を受けることができました。今までに認証された施設数は、全国で486施設、京都府下では5施設です。私たちの臨床検査科にとっては日本臨床細胞学会施設認定に続いてふたつ目の認証になります。

今後も引き続き信頼される臨床検査値を提供できるように、精度の維持向上に努めていきたいと思っています。

(臨床検査科 四方 学)



生活習慣病予防教室のご案内

当院では糖尿病をはじめとする生活習慣病予防のための教室を次のとおり開催します。生活習慣病にならないために、検査結果の見方や、食事・運動などの日々の生活を“チェンジ”できるワンポイントアドバイスを提供できたらと思っております。ぜひご参加ください。

- 開催日時：平成24年7月7日(土)午前10時～12時
- 開催場所：当院講堂
- 問合せ：0773-43-0123 栄養科(内線191)
- 参加費：無料 ●申込み：不要
- その他：軽い運動を行いますので動きやすい服装でお越しください。

糖尿病教室のご案内

| | 6月 | 7月 | 8月 |
|-----------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 糖尿病教室 ●無料、申込み不要 13:30～15:30 | 4日(月) | 2日(月) | 6日(月) |
| | 11日(月) | 17日(火) | 20日(月) |
| 試食会 ●実費、申込み要 | 18日(月) 18:00～20:00 | 25日(水) 12:30～14:30 | 27日(月) 18:00～20:00 |

がん相談支援センター開設のご案内

がん相談支援センターは「がんの相談窓口」です。患者さまやご家族のほか、どなたでも無料でご利用いただけます。

- 受付時間：月曜日～金曜日 8:30～15:30
- 場所：外来ホール 1階

平成23年度 診療実績 (H23.4.1～H24.3.31)

| 項目 | 平成23年度 | | 前年度 1日平均 | |
|---------------|-------------|-------|-------------|------|
| | 年間 | 1日平均 | | |
| 入院患者数(人) | 66,745 | 182.4 | 183.1 | |
| 外来患者数(人) | 170,489 | 577.9 | 588.5 | |
| 再掲 | 救急車搬送患者数(人) | 1,375 | 3.8 | 3.8 |
| | 時間外救急患者数(人) | 7,708 | 21.1 | 24.2 |
| 手術件数(件) | 1,755 | ※ 6.7 | ※ 7.2 | |
| 出産件数(件) | 341 | 0.9 | 1.1 | |
| 人間ドック等利用者数(人) | 1,814 | ※ 7.4 | ※ 9.2 | |

※印は実施日1日あたり平均

退職医師のお知らせ

3月末日付け

| | | | |
|-------|-----------|-----|-----------|
| 消化器内科 | 廣濱 昌尚 | 小児科 | (非) 大内 一孝 |
| 神経内科 | (非) 吉田 誠克 | 精神科 | (非) 山下 達久 |
| 神経内科 | (非) 牧野 雅弘 | 研修医 | 米倉 なほ |
| 神経内科 | (非) 丹羽 文俊 | 研修医 | 菅原 拓也 |

(非) 非常勤医師

vol.5 リレートーク 心の音

綾部市障害者
生活支援センター「青空」

大石 美也子

私には、感謝してもしきれない方がおられる。実は、未だきちんとお礼を言えずにいる。当時まだ小学生だったそのお二人は、今はもう立派な青年である。

以前、私の恩師から「あなたは小学校の時から『障害者関係の仕事したい』と言っていた。」と言われ自分でも驚いた。そう、物心ついた時からずっと、それが私の夢だった。それなのに結局、専門的な勉強もしいままでの道に進み、15年間「夢は夢」と胸の奥にしまいこみ、忘れかけてさえた。そんな時この出会いがあった。当時、職員として勤めていた小学校のひまわり学級の子どもたち。もう18年も前のことである。

A君は、自分の思いで突っ走ってしまうわんぱく子で、授業中でも教室を飛び出して外で一人遊んでいる事があった。未熟な私は「教室へ入ろう!」と強く声をかけてしまった。するとその時のA君は、私の顔にペッと唾を吐いてきた。それは自分の気持ちを言葉でうまく表せないA君の意思表示だった。一方B君は、なかなか人になじめない

性質で、一職員の私に声を聞かせてくれることなどまずなかった。ある日のお昼休み、一緒に給食室へ食器を返した帰り道に、職員室の前で「じゃあね」と繋いだ手を放そうとしたその時、ぎゅっと握り返してきて、小さな声で「あそぼ」と言ってくれた。

どちらも当時の私にとっては衝撃で、胸が震えた出来事。A君の「唾ペツ」も私にはとても嬉しい出来事だった。私がただ漠然と夢としていたことは、このような体当たりのふれ合いだったことに気付かされ、胸の奥にあった夢が一気に膨れ上がって出てきた。

こうして転職を決意し、今は相談支援員としてのお仕事をさせていただいている。この仕事を通してどれだけ新しい出会いを得られたことだろう。もちろん皆さんの悩みや苦しみを分かち合うことは楽しいばかりじゃないけれど、人との出会いふれ合いに向かう時、何ともいえずわくわくするのはずっと同じ。幸せ者だ。

もちろんお二人とも、当時の職員との小さなやりとりなど覚えておられないことと思う。それでもいい遅ればせながら今、お礼を言わせてください。

「本当に、ありがとう。」
今回は、犬の美容師である大槻美由紀さんを紹介させて頂きます。多方面で活躍されている方なので楽しみます。

外来診療担当医師表

平成24年5月1日より

| 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | | |
|--------------|--------------|-------------------|--------------------|----------------------------------|--------------------|---------------------|---------------|------|------|------|
| 診療科名 | 外来名 | 担当医師 | 外来名 | 担当医師 | 外来名 | 担当医師 | 外来名 | 担当医師 | 外来名 | 担当医師 |
| 内科 | 1 診 | 消化器・胃腸 (緩和ケア) 高 升 | 内科一般消化器 江 口 | 内科一般消化器(緩和ケア) 長 谷 川 | 内科一般消化器 高 升 | 内科一般消化器・胃腸 長 谷 川 | 内科一般消化器 長 谷 川 | 内科一般 | 担当医師 | |
| | 2 診 | 内科一般循環器 ※河 野 | 内科一般循環器 ※中 村 | 内科一般循環器 ※志 賀 | 循環器 ※志 賀 | 内科一般循環器 ※河 野 | 内科一般 | 担当医師 | | |
| | 3 診 | 内科一般循環器 足 立 | 呼吸器 (9:00~) ※永 井 | 呼吸器 ※長 崎 | 内科一般循環器 ※中 村 | — | — | — | | |
| | 4 診 | 内分泌糖 尿病 ※担当医師 | 内 分 泌 糖 尿 病 ※市 田 | 内科一般循環器 足 立 | 内 分 泌 糖 尿 病 ※市 田 | 神経内科 (10:15~) ※渡 邊 | — | — | | |
| | 5 診 | — | 消化器肝 臓 ※石 井 | — | 神経内科 (10:15~) ※滋 賀 | 消化器肝 臓 ※石 井 | — | — | | |
| | 6 診 | — | 神経内科 (10:15~) ※村 西 | — | — | — | — | — | | |
| 外科 | 1 診 | 外科一般消化器 井 上 | 外科一般消化器 鴻 巣 | 外科一般消化器 沢 辺 | 外科一般消化器 富 田 | 呼吸器 柳 田 | 外科一般 | 担当医師 | | |
| | 2 診 | — | 乳腺外科 藤 原 | 血管外科 第2・4週 ※大 川 血管外科 第3週 ※増 田 | 呼吸器 ※柳 田 | 外科一般消化器 ※鴻 巣 (緩和ケア) | 禁煙外来 (隔週) | 担当医師 | | |
| | 午後 | — | — | — | 乳線外科 ※藤 原 | — | — | — | | |
| 整形外科 | 1 診 | 手の外科 小 橋 | 1 診 担当医師 | 1 診 手の外科 小 橋 | 1 診 志 賀 | 1 診 リウマチ 谷 口 | / | | | |
| | 2 診 | 脊 椎 森 | — | 2 診 リウマチ 谷 口 | — | 2 診 脊 椎 森 | | | | |
| | — | — | — | — | — | 3 診 担当医師 | | | | |
| 小児科 | 午前 | 1 診 戸 澤 | 1 診 上 野 | 1 診 新 田 | 1 診 上 野 | 1 診 西 村 (2・4週) | 1 診 担当医師 | | | |
| | | 2 診 上 野 | 2 診 金 田 | 2 診 戸 澤 | 2 診 金 田 | 小児神経一般 戸 澤 (1・3・5週) | — | | | |
| | — | 小児循環器 第3週以外 ※問 山 | — | — | 2 診 金 田 | — | | | | |
| | ※午後 | 1 診 慢性疾患 金 田 | 慢性疾患 戸 澤 | B C G 担当医師 上 野 | 予防接種 担当医師 | 慢性疾患 上 野 | — | | | |
| 2 診 | 1ヶ月健診 担当医師 | 1ヶ月健診 担当医師 | 慢性疾患 戸 澤 | — | 慢性疾患 金 田 | — | | | | |
| 産婦人科 | 1 診 | 上 野 | 1 診 埜 村 | 1 診 川 原 健 | 1 診 上 野 | 1 診 山 本 | / | | | |
| | 2 診 | 川 原 健 | — | 2 診 (9:30~) 上 野 | 2 診 埜 村 | — | | | | |
| | 午後 | 1ヶ月健診 担当医師 | 1ヶ月健診 担当医師 | — | — | — | | | | |
| 泌尿器科 | 1 診 (9:00~) | 廣 田 | 1 診 (9:00~) 鳥 山 | 1 診 (9:00~) 廣 田 | 1 診 (9:00~) 高 村 | 1 診 (9:00~) 鳥 山 | / | | | |
| | 2 診 (10:30~) | 鳥 山 | 2 診 (10:30~) 廣 田 | 2 診 (10:30~) 高 村 | 2 診 (10:30~) 担当医師 | 2 診 (10:30~) 高 村 | | | | |
| 眼 科 | 高 家 | 中 村 | 担 当 医 師 | 高 家 | 中 村 | 担 当 医 師 | / | | | |
| 精神科 ※ 10:15~ | 月2回 畑 | 畑 (緩和ケア) | 物忘れ外来 成本/谷口 | — | 中 前 | — | | | | |
| 耳鼻咽喉科 | 佐 藤 | 佐 藤 | 佐 藤 | 佐 藤 | 担 当 医 師 | 担 当 医 師 | / | | | |
| | 午後:超音波 ※佐 藤 | — | — | 午後:超音波 ※佐 藤 | — | — | | | | |
| 皮膚科 | 1 診 (9:00~) | 佐 野 | 1 診 (9:00~) 佐 野 | 1 診 (9:00~) 佐 野 | 1 診 (9:00~) 佐 野 | 1 診 (9:00~) 佐 野 | / | | | |
| | 2 診 (10:30~) | 中 村 | — | — | 2 診 (11:00~) 加 藤 | 2 診 (10:30~) 山 崎 | | | | |
| 放射線科 | — 島 / 松 元 | — 島 / 松 元 | — 島 / 松 元 | — 島 / 松 元 | — 島 / 松 元 | — 島 / 松 元 | 担 当 医 師 | | | |

※印は原則として予約制になっております。各診察室で申し込んで下さい。



外来診療のご案内

☆診察日 月~土曜日
※土曜日は診療科により異なります

☆休日 日曜・祝日
年末年始

☆受付時間 午前8時~ 午前11時30分
(自動再来受付機/午前7時30分より稼働)

☆診察開始時間 午前8時30分~

☆人間ドック (半日)月~金曜日

☆脳ドック (13時~)月~金曜日

☆血管ドック (9時30分~)第2・4水曜日

面会時間について

平日 午後2時~午後7時

土・日・祝日 午後1時~午後7時

綾部市青野町大塚20番地の1

0773
☎ 43-0123
FAX 0773-42-7870

